

事業主体：佐賀県



事務局：佐賀県有明海再生・
自然環境課
対象地域：佐賀県唐津市
(佐賀県唐津市七山池原
字樺原に位置し、佐賀県自
然環境保全地域特別地区に
指定されている 8ha の範囲)
設立日：H16.7.4
全体構想作成日：H17.1.26
実施計画作成日：H17.3.31
(R4.3 現在)



ハッショウトンボ

再生課題：湿原の再生

樺原湿原地区自然再生協議会

再生
目標

昭和中期頃の湿地植生を再生し、人為活動との適切な関係の再構築を目指す。



樺原湿原は面積約 120ha の湿地で、貴重な湿生植物、昆虫などの宝庫であり、野焼きや草刈り等の継続的な人為的管理により自然環境が保全されてきました。しかし、緩やかな遷移の進行やオオミズゴケ他特定植物の繁茂、周辺域からの土砂の流入、周辺森林の成長等により、湿原植生の劣化が進行しています。

このため、野焼きの継続や流入土砂の除去等、湿地環境を良好な状態へと再生する取り組みを進めています。また、地元住民が主体となった観察路の整備、企業によるボランティア活動、研究者による調査等、湿原保全に多くの方が関係する取り組みも行っています。

ここに注目！

生涯にわたる質の高い学習機会の提供

学校や団体等の自然観察や学習会の受け入れ、一般来訪者への情報提供や解説に取り組んでいます。また、企業の CSR 活動と連携して、隣接する広葉樹林内における落ち葉かき等の維持管理体験活動を行うなど、自然観察や環境学習の場を保全・提供しています。

自然再生の手法

- ▶ 草刈り、耕起等による遷移の抑制
- ▶ オオミズゴケ他の特定植物の除去
- ▶ 堆積土砂の除去
- ▶ 湿地周辺林の管理（落ち葉かき、除伐等）



オオミズゴケ堆積による
植生の劣化



土砂堆積部分の浚渫

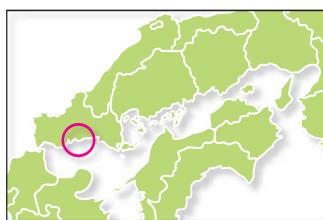


再生事業後に再生した
多様な植生



企業によるボランティア
活動（落ち葉かき）

事業主体：山口県



事務局：山口県自然保護課、山口市
環境政策課 他
対象地域：山口県山口市
(周防灘の山口湾に流入す
る樺野川河口干潟等)
設立日：H16.8.1
全体構想作成日：H17.3.31
実施計画作成日：検討中
(R4.3 現在)

再生課題：干潟等の再生

樺野川河口域・干潟自然再生協議会

再生
目標

人が適度な働きかけを継続することで、自然からのあらゆる恵みを持続的に享受できる場、「里海」の再生を目指す。



樺野川河口域から山口湾においては、344ha の広大な干潟が広がり、クロツラヘラサギなどの様々な鳥類の餌場・休息場、カブトガニの生息場になつておらず、「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」にも選ばれている全国的にも重要な地域です。

しかし、浮泥の流入、カキ殻の堆積、干潟の硬質化・無機質化、アマモ場の激減、アサリの壊滅など、干潟生態系の改変・改質が生じています。

このため、樺野川河口域・干潟の自然環境を再生し、維持していくための取り組みを進めています。

ここに注目！

多角的なアプローチ

自然再生活動と共に生物観察会などの環境学習を併催したり、近隣小学校の「総合的な学習の時間」と連携した授業を行ったりするなど、様々なアプローチの仕方で自然再生の啓発や人材育成を行っています。

自然再生の手法

- ▶ 力キ殻の粉碎などによる底質環境の改善
- ▶ 科学的な分析・評価による干潟への働きかけ
- ▶ 再生活動が持続される体制づくり



干潟等での活動



干潟耕耘作業



アサリ再生活動



海岸清掃



生き物観察会



潮干狩り体験